

\*\*\*\*\*

浜松市立上島小学校

# むくろじ



メールアドレス kamijima-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

令和6年2月21日

ホームページアドレス <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/kamijima-e/>

第 1 2 号

\*\*\*\*\*

## 「上っ子学習発表会」 学びの成果を発表しました

校長 山本 千興

今年度、本校では二つの発表会を計画しました。

一つは、音楽発表会。それぞれの学級・学年の仲間が力を合わせ、すてきな音楽を奏で、曲を創り上げました。参観者は心を震わせ、涙を流し、感動がありました。

もう一つは、先日の上っ子学習発表会。生活科や総合的な学習の時間の学びを、体で、言葉で、資料を使って分かりやすく発表・発信しました。**特に総合的な学習の時間では、「自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する」ことを目標に、学習を進めてきました。これからの時代、こうした力がさらに求められていることを、保護者や地域の方に知っていただきたく、参観会を利用して発表会を実施しました。**

1年生は「できるようになったよ はっぴょうかい」と題して、音読、計算、漢字、なわとび、給食で食べられるものが増えたことなど、入学してから成長したことや得意なことを披露しました。「お家の方に頑張る姿を見てほしい」という気持ちがあふれた発表がいっぱいありました。

2年生は、野菜づくり、電車教室、まち探検、おもちゃづくり等、生活科の学習から一つを選び、具体的に学んだことを、聴き手を意識して発表しました。クイズを交えたり、参観者にすごろくで遊んでもらったり、発表の方法に工夫がありました。

3年生は、昔の上島小のことを発表しました。昔の校舎、昔の授業、昔の生活、昔の行事。昔の学校生活や昔の上島小を知っている地域の方の講話や、昔のアルバム調べを通して、たくさんの発見がありました。新聞やポスターにまとめる、クイズ形式で発表する、発表の中に自作した遊具の模型を提示する等、3年生ならではの工夫がありました。

4年生は、ユニバサルデザインや福祉について学んできましたが、今回は「今までの自分 これからの自分」と題して、誕生から10年を振り返るとともに、今後の夢や目標を発表しました。さらに、自分を育ててくれた感謝の気持ちをお家の方に伝えました。わが子の発表を見守る保護者の姿から、子供たちの言葉がしっかり届いていることが分かりました。涙ぐんでいる方もいらっしゃいました。

5年生は「われら環境調査隊」と題して、身の回りの環境や持続可能な社会について学びを深めました。地球温暖化、環境汚染、絶滅危惧種等、その分野に詳しい人の話を聞いたり、体験したり、調べたりしてきました。休日を利用して取材に出掛けた子もいました。また、たくさんの子供が、タブレット端末で資料を提示して発表していました。環境に対して自分にできることを考え、行動に移すことを期待します。

6年生は「未来へつなぐ」と題して、いろいろな仕事に携わっている“人生の先輩”を取材して、これからの生き方について考えてきました。学校に来てもらった先輩、地域に出掛けて出会った先輩、校外学習先で知り合った先輩から、たくさんのお話を聞きました。インターネットや本で調べるだけでなく、先輩から生の声を直接うかがえたことは、大変貴重な機会でした。

**どの学年も、自分が興味をもったこと、疑問に思ったこと、詳しく調べたいことなど、一つのことを深く追究してきました。人から話を聞いて、体験して、取材して、インターネットや本で調べて…。その中で分かったこと、考えたこと、これから行動することを、自分の言葉で、友達や参観者に伝えました。上っ子学習発表会の初年度、いかがでしたか。来年度も計画しています。さらに積み上げ、子供たちにとって実りのあるものにしていきます。**

できるようになった発表会(1年生)

## 6年生への感謝の気持ちを込めて

明日、2月22日(木)に「6年生を送る会」を行います。学校を支えてくれた6年生に向けて1～5年生が心のこもった出し物を行う予定です。これまで、各学年で工夫を凝らした出し物の練習を行ってきました。その練習の成果を発揮し、上島小のリーダーとして活躍した6年生に対して、感謝と励ましの気持ちを伝えられる会にしていきます。併せて、委員会の引継ぎ式を行います。6年生から引き継いだ思いを5年生が実現していくことができるように頑張ります。

## 給食週間

1月22日(月)から26日(金)は給食週間でした。今回の給食週間のテーマは「上島小学校の給食の残食を減らそう」でした。このテーマには、給食委員会の子供たちの「給食の残食を減らしたい。そのために、上島小学校のみんなには、給食を作ってくれる人の気持ちや大変さを知り、感謝の気持ちを持って給食を食べてほしい。」という思いが込められています。

給食週間中には、給食の片付けの様子や、調理員への仕事の内容をインタビューした動画を放送しました。また、期間中に残食が少なくなったクラスへ表彰を行いました。

映像を見た児童からは、「こんなに残食が多いんだ。」「苦手な物ももう少し頑張って食べてみようかな。」「調理員さんは、残食が少ないと嬉しいんだね。頑張って食べよう。」という前向きな声が上がりました。実際に、期間中の残食は大変少なくなり、調理員さんからの日記には「残食が少なく、歓声が上がりました。たくさん食べてくれると嬉しいです。」と書かれていました。

感謝の気持ちを持って、食事をする事の大切さに気付く子供たちの姿がたくさん見られ、嬉しかったです。

給食週間をきっかけに、ぜひ、御家庭でも「食」について考えてみてください。

